

## 平成24年度倉敷市立自然史博物館協議会議事録

開催日時) 平成24年7月24日(火) 14～16時

開催場所) 倉敷市立自然史博物館講義室

協議事項) (1) 平成23年度事業報告について  
(2) 平成24年度事業について  
(3) その他(第21回特別展「岡山県の外来生物」について)

出席委員(50音順) 今川鉄夫委員, 榎本敬委員(会長), 鴨井香織委員, 河邊誠一郎委員  
(副会長), 草地功委員, 小橋理恵子委員, 佐藤國康委員, 島岡浩恵  
委員, 園田昌司委員, 地職恵委員

欠席委員 なし

事務局 吉田雄平教育長, 坂田卓司生涯学習部部長, 天本隆士館長, 江田伸司主幹, 狩山俊悟  
主幹, 奥島雄一主任, 西井康浩副主任, 武智泰史副主任

傍聴者 なし

マスコミ取材 なし

### 議事録(要旨)

#### 1 開会

#### 2 開会あいさつ

吉田雄平教育長

#### 3 新任委員・再任委員・事務局職員の自己紹介

#### 4 会長・副会長選出

委員のうち一人から, 会長に榎本敬委員, 副会長に河邊誠一郎委員をとの推薦があり, 了承された。

## 5 協議

### (1) 平成23年度事業報告について

(事務局説明) 倉敷市立自然史博物館報21号(平成23年度)をもとに、展示事業・調査研究事業・資料収集保管事業・教育普及活動・庶務について説明。続いて平成23年度決算報告について説明。

議長：質問・意見等があればお願いします。

委員：学校園等見学ガイドは初めての試みか。

事務局：今までも行っていたが、教育普及担当の職員が増えたので対外的に公表する形でガイドを行うこととした。

委員：子どもが倉敷市立自然史博物館を知るというのは大事なことと思われる。多くの子どもに利用してもらえるようになればよい。

委員：資料収集保管事業の予算が減っているのはなぜか

事務局：平成22年度は大高仮収蔵庫の運用が始まった年であり、その年度は棚の据え付けなどを行ったため、一時的に予算額が増えた。

委員：大高仮収蔵庫で標本の収蔵はしばらく大丈夫か。空調設備はどうか。

事務局：大高仮収蔵庫は空調設備が無く、機械警備のため、とりわけ貴重なものや、虫害を受けやすい標本は置けない。

委員：これまで標本収集をしてきた人たちが今後現役を退き、寄贈される標本が増えてくると思われるが、そのことへの対応はなされているか。

事務局：内部で相談している。現状では廊下などに仮置きしているものもある。

委員：収蔵庫には標本がたくさんあり、展示しているのは収蔵標本のごく一部である。博物館の価値は収蔵標本の価値で決まるので、早急に相談して改善してもらいたい。

議長：平成23年度事業報告については異議なく了承されたものと認める。

### (2) 平成24年度事業について

(事務局説明) 平成24年度イベントカレンダーをもとに、展示事業及び教育普及事業について説明。続いて、平成24年度予算計画について説明。

議長：質問・意見等があればお願いします。

委員：平成24年度イベントカレンダーは、大きさも適当でよいと思う。持ち運びしやすく、

また、説明しやすい。

委員：市内の小・中学生に1枚ずつ配布できれば良いと思うが。

事務局：予算上の都合もあるが、今後、できるだけ多く子どもたちに知らせるよう検討していきたい。

委員：できるだけ、若い人を引き込みたい。昆虫分野の研究者は若手が少なく、小・中学生の時期に自然になじんでほしい。若手教育が重要で、この点に関し、われわれも手を貸したい。自然保護教育も重要である。

委員：博物館資料をデータベース化しているのか。

事務局：している。資料によってはデータを公表できるものとそうでないものがある。植物標本資料のうちでデータが公表できるものに関しては、国立科学博物館のホームページから検索できるようにしている。今年度は昆虫標本資料についてもデータが公開用に提供できないか検討している。より多くの人に当館の資料を利用していただきたいと考えている。

委員：資料は利用されてこそ価値がある。

委員：ホームページはどのようになっているか。

事務局：倉敷市立自然史博物館のホームページは整備されている。倉敷市のホームページからリンクもはられている。

委員：平成24年度イベントカレンダーを見ると良い内容であるが、個々のイベントに参加するためにそれぞれどこに問い合わせればよいのかがわかりにくい。

委員：カラーは経費もかかると思うので、モノクロ印刷でも市内の小・中学生全員に配布するほうが良い。

事務局：検討したい。

議長：平成24年度事業については異議なく了承されたものと認める。

### (3) その他

(事務局説明) スライドの資料をもとに、第21回特別展「岡山県の外来生物」について説明。

議長：質問・意見等があればお願いします。

委員：市内のショッピングモールでワークショップを行ったところ、倉敷市立自然史博物館のことを知らない人が多かったという話を聞いた。倉敷市立自然史博物館を知る機会がないのかと思った。倉敷・総社地域以外からでも小・中学生が見学にくるような仕組みがあればよい。

事務局：広報活動に力を入れているが、今後とも努力していきたい。また、月に1度はホームページを更新しているので見ていただきたいと考えている。

委員：倉敷市立自然史博物館発行のいろいろな資料にはURLが載っているが、パソコンに打ち込むのに手間がかかるという声を聞いた。できればケイタイから読み込めるようにはできないのか。

事務局：今後、研究していきたい。

委員：ダルマガエル観察会のタイトルについてはナゴヤダルマガエル観察会とすべきではないか。特別展解説書ではナゴヤダルマガエルとなっている。

事務局：この観察会は友の会が主催しているものであるが、今年で14年目となり、当初より「ダルマガエル観察会」としてきたので、ダルマガエルの方が親しみが持てると思われる。ただし、この観察会の講師によると標準和名が「ナゴヤダルマガエル」となっているので、今後は統一を図っていききたいとのことである。

委員：学校用貸出標本については学校へ広報すれば利用件数が増えるのでは。

委員：美観地区の外国人旅行者に多く来てもらうためにも英語のほかに、中国語、韓国語の案内もあると良い。

委員：外国語表記はあったほうが良い。

委員：博物館の標本は個人的にも借りることができるのか。

事務局：可能である。学芸員を窓口として対応している。収蔵資料を活用した成果もあがっており、館報でも紹介している。

委員：子どもの研究で名前調べをするために収蔵資料は利用できるか。

事務局：収蔵庫の標本を活用する場合は、分野ごとの学芸員の許可を得ることになっている。

委員：申込書などに記入して、後日、来館する方式か。

事務局：収蔵庫の標本は学芸員立会いのもとでの利用なら申込書は不要。貸出は資料貸出許可申請書の提出が必要になる。

委員：倉敷市立自然史博物館の設立当初からの予算をみると、展示更新に関するもの以外では、大きな事業についての予算措置がほとんどない。そろそろ、収蔵庫拡張に関する計画をあげて予算措置を講じてもらう時期に来ているのではないか。倉敷市立自然史博物館は西日本の公立の自然史博物館としては、大阪市立自然史博物館、北九州市立いのちのたび博物館に次ぐ規模の博物館であると自覚し、もっと大きな考えを持ってほしい。

事務局：本日は、多くの貴重なご意見をいただきありがたい。今後の博物館の運営に活かしていきたい。

#### 6 閉会あいさつ

坂田卓司生涯学習部部長：本日は貴重なご意見をたくさんいただいた。当施設も多くの方々からさまざまな支援をいただいて良くなっている。市内外の方々から、もっと利用していただけるよう、努力していきたい。

#### 7 閉会

(事務局) これにて平成24年度倉敷市立自然史博物館協議会を終了する。

協議会終了後、委員を対象とした第21回特別展「岡山県の外来生物」の見学会を行った。

以上の議事録を平成24年7月24日開催の平成24年度倉敷市立自然史博物館協議会議事録(要旨)とすることに同意します。

平成24年8月9日

倉敷市立自然史博物館協議会

会長 榎本 敬

